

令和4年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を育てる。
 (2) 自らを律する心を育て、礼節を重んずる生活習慣の確立を図る。
 (3) 自らを鍛え、健康で豊かな思いやりのある社会人の資質を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習経営	・「学校生活は楽しい」「本校に入学して良かった」という質問に対し、肯定的な選択をした生徒の割合が高く、概ね学校生活に満足していると判断できる。	・生徒の活躍の様子が学校だより、学校ホームページ、新聞記事から伝わっている。情報の発信を今後も期待している。
改善方策	・引き続き、教育活動の中で達成感や充実感を味わい、日々の成長を感じられるような学校づくりに努める。	
教科指導	・「校外で学習したり、地域の人に来てもらって学習することは楽しい（生徒）・地域の環境や人材が、教育活動に活かされている（保護者・教職員）」の質問に対し、全ての評価平均は概ね高く、地域連携の成果を実感していることが判断できる。	・地域社会に貢献することの意義や喜びを改めて生徒へ醸成するとともに、地域のイベントやボランティア活動を通して、地域住民の方から生徒へ感謝の気持ちが伝えられるような場面づくりをこれからも期待している。
改善方策	・企業等と連携した地域社会の活性化（商品開発等）を図るとともに、生徒に地域社会の発展・充実に貢献することの意義や成果を今後も実感させるよう工夫に努める。	
生徒指導	・「相談事や悩みなど気軽に先生に相談できる」の質問に対し、生徒の評価平均が微増していることから個人に応じた指導の成果が出ていると判断できる。	・全教職員での教育相談が設定されるなど、生徒の悩み等を相談する体制づくりができています。今後も生徒の安全確保に向けた指導を期待している。
改善方策	・引き続き、教育相談週間を設け、生徒が悩み等を相談しやすい環境づくりを行うとともに、生徒のわずかな変化を見逃さずに迅速かつ適切に指導がなされるよう努める。	
進路指導	・「自分の適性や希望を生かした進路指導が行われている」の質問に対して生徒・保護者の平均評定は概ね高く、きめの細かい指導ができていると判断できる。また「就業体験学習やボランティア活動などは進路決定に役立っている」との質問に対して全ての平均評定が概ね高いことから体験学習の意義や役割が浸透していると判断できる。	・今後も進路決定率維持に努め、生徒の多様な進路に対応する学校であることを期待している。
改善方策	・引き続き、生徒のキャリア形成につながる効果的な指導を行うとともに、地域と連携した進路活動に努める。	